

目的

背景

検討の方向性

これまでの検討・当面の検討課題

今後の検討例

建設工事の品質確保  
・  
建設産業の健全な発展

**建設生産システム等をと  
りまく環境の変化**

- ・下請構造の重層化にともなう元請・下請関係の変化
- ・施工の規格化、工場製品の増加
- ・i-Construction等の生産性向上の取組の推進等

**工事の品質確保に対する信頼性の揺らぎ**

- ・不正事案の発生
- ・技術力の低下 等

**今後の大量離職に伴う技術者の不足**

- ・高い高齢化率
- ・入職者の減少、高い離職率
- ・若手技術者の活躍機会の減少 等

①時代の変化に対応した技術者制度の基本的枠組みの再検討

②不正行為を生じさせない仕組みづくり

③適正な技術・技能を持った者(有能な者、分野に相応しい者)による施工

④若年齢から活躍できる機会の付与(モチベーションの向上)

⑤働き方改革(職場環境の改善等)を阻害する要因の排除

**技術者の役割の再整理**

- ・元請と下請の技術者の役割の明確化

**技術者の効率的・合理的な活用**

- ・技術者の途中交代の運用改善
- ・余裕期間の配置の運用改善
- ・官公需適格組合における在籍出向
- ・金額要件の引き上げ
- ・非専任期間の弾力的運用

**技術者の責任の明確化**

- ・元請と下請の技術者等の責任の明確化
- ・工場製品等に関する品質管理のあり方

**役割に見合った技術者の配置**

- ・民間資格の活用(解体工事、基礎ぐい工事)等

**若手技術者が活躍できる環境整備**

- ・技術検定の受験要件の緩和(実務経験年数の緩和、2級学科の早期受験化、1級学科の早期受検化)
- ・技術検定の受験機会の拡大(2級学科の年2回実施、会場数の拡大)
- ・学科試験合格者(技術検定)への名称の付与
- ・大規模工事における監理技術者等を補佐する技術者の配置

**役割に応じた配置・専任要件の基本的枠組みの再検討**

- ・技術者の役割の検証
- ・配置・専任要件の検証
- ・現場の多様化(技術的難易度、重要性等)に応じた効率的な専任要件の設定

**悪質行為の根絶**

- ・倫理意識の高揚
- ・悪質行為者に対する処分規定の導入

**技術者の責任の明確化と資質評価**

- ・技術者の資格、実績等の見える化、継続教育(CPD)の評価

**役割に見合った技術者の配置**

- ・監理技術者等への有資格者配置の推奨(適切な資格の設定等)

**若手技術者が活躍できる環境整備**

- ・技術検定の受験要件の緩和(学科合格者の実地試験時における試験免除の拡充)

**役割に応じた配置・専任要件の基本的枠組みの再検討【再掲】**

※黒字は、これまでの主な取り組み、青字は基本問題小委員会中間とりまとめ提言